

# 平成29年度シラバス ( 外国語 )

学番 7 8 新潟県立海洋高等学校

教科 (科目)	外国語 (コミュニケーション英語 I)	単位数	2 単位	学年 (コース)	3 学年
使用教科書	ENGLISH NOW English Communication I (開隆堂)				
副教材等	英語マスターノート (増進堂)				

## 1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

## 2 指導の重点

- ①「使える英語」を重視し、読んだ内容について、英語を用いて自分の考えなどを発信できる力を養います。
- ②異文化について理解を深め、国際的な課題について主体的に考察することで、グローバル人材を育成します。
- ③言語活動を多く取り入れることで、他者と関わる機会を増やし、コミュニケーション能力を伸ばします。

## 3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4 5	Lesson 6 (中間考査)	A Friendly Hug	・日米のあいさつの違いから、言語以外に外国人と交流するときに考慮すべきことは何か考える。 ・不定詞と過去完了を含む文の意味と使い方を理解する。	12	定期考査 音読
6	Lesson 8 (期末考査)	Communication in Soccer	・コミュニケーションをとることの大切さを理解する。 ・形式目的語itや関係代名詞whatを含む文の意味と使い方を理解する。	8	定期考査 スピーチ
7	Reading 1 (中間考査)	American or Not American?	・物語を読んで、登場人物の意図や気持ちを理解する。 ・自分が登場人物の立場ならどう行動するか想像する。 ・登場人物の気持ちが伝わるように音読する。	8	定期考査 音読
9 10	Lesson 9 (中間考査)	Mottainai	・「もったいない」という言葉がどのように世界に広まったのか理解する。 ・受け身や知覚動詞を含む文の意味と使い方を理解する。	12	定期考査 音読
11 12	Reading 2 (期末考査)	The Story of Wangari Maathai	・伝記を読んで、情景を思い浮かべたり、気持ちを想像したりする。 ・インターネットで情報収集をして、要点をまとめる。	12	定期考査 プレゼン
1 2	Lesson 7 (学年末考査)	Mago no Mise	・他県の高校生の取組について知る。 ・自分たちの学校やコースについて、英語で紹介できるようになる。	12	定期考査 プレゼン

## 4 提出物等

合計 64 時間 (55 分授業)

- ・定期考査ごとにファイルやノートを提出してもらいます。
- ・学期に1度は発表活動を行い、その原稿や成果物を提出してもらいます。
- ・夏季/冬期休業中の課題は別途指示します。

## 5 評価規準と評価方法

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを適切に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にあたる文化などを理解している。
以上の観点を踏まえ、○定期考査 ○発表活動 (音読、スピーチ、プレゼン) ○提出物 ○授業への取組 ○課題テスト などから、総合的に判断します。			

## 6 担当者からの一言

いよいよ最終学年になり、高校での英語学習も総仕上げです。最後のプレゼンに向けて、少しずつ力をつけていきましょう。英語力だけでなく、コミュニケーション能力や国際人としての自覚など、社会に出る上で大切なことを英語の授業をとおして身に付けてくれることを期待します。  
(担当: 川瀬 紗也香)